

直次郎 かまびすしい

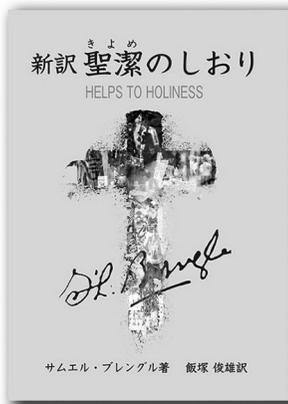


主の細きみ声が聞こえなかった ©富無尽蔵

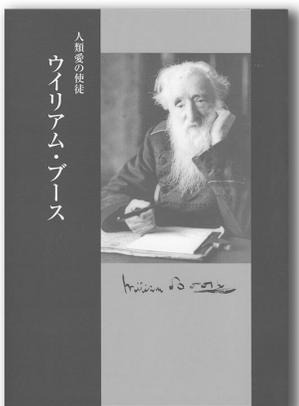
救世軍出版供給部の本を紹介します
私たちの信仰のDNAとなっている名著

新訳 聖潔のしおり

注文は救世軍のホームページをご覧ください。



古典的名著であり、聖潔の生きた証しとして、現代も読まれなければならない必読の書です。本書の至る所にブレングル自身の証しが記されています。「ボストンの公園をあまりのうれしさに涙を流し、神を賛美しながら歩き回りました。」ホーリネス運動を押し進める霊的資源ともなった本書が、飯塚俊雄先生の訳で輝きを増しています。



救世軍の創始者、ウィリアム・ブースの伝記です。巻末に講演記録が収められています。著者は山室軍平のご子息、山室武甫氏です。副題に「人類愛の使徒」とあるように、ブースが息子に命じた「行って何かをするように」が、救世軍の働きのスピリットとなりました。社会事業を支えた信仰が、どこから来たのかを学ぶことができます。

2018年秋の聖化大会 講師は私たちの中から

日本の講師で行う聖化大会 地域の特徴を生かした大会に



昨年は宗教改革500年を記念するさまざまなイベントが行われました。そうした中で、私たちはダイアン・レクラーク先生をお迎えして、歴史神学的な視点から、深い学びをしました。教会歴史に流れる宗教改革、プロテスタントの伝統、そして敬虔主義や信仰復興運動の息吹、私たちホーリネスの系譜とその特徴や立場を確認することができました。

今年のご案内のとおり、外来の講師をお招きせず、私たちの仲間である日本人の講師によって聖化の説教を語っていただくことになっています。すでに各地の交友会では、今年の講師が発表されています。8ページの各地の聖会一覧をご覧ください。私たちの周りには素晴らしい説教者が揃っています。日本のクリスチャンの弱点や欠けをよく知って、そこにとどのような聖霊の御業がなされるか、身近な器ならではの行き届いたメッセージを期待したいと思います。